

2018 8/5~8/10

志賀高原

「熱い…思い出」

中学部 夏期合宿 作文



英語はまだまだ
うになったが、
点数を取れるよ
うになったが、
英語はまだまだ
だが、長文読解
をできるように

M・Kくん

五泊六日の合宿を通して、まず一番思い出に残っていることは、おとといの避難訓練の後に見た星のきれいな星でした。本当に東京じゃありえないくらい星で、自習時間を削られて弱冠イライラしたけれど、貴重な体験ができたので良かったです。

T・Rくん

正直昔までの自分はどうせ、できないからとか思っていた。バカバカしい。よく母から言われていた「人間は唯一時間だけが平等だ」というけれど、努力して伸びることも平等だと思っ

K・Tくん

今までの得意科目は数学だと思っただけけれど、今回は国語は先生のプリントのおかげで、今までは感覚で解いていたが、理論的にしっかりと証拠を見つけて解けるようになった。国語は

なってきた。今後は合宿の目標にも書いたように、自分の限界を決めずにしていきたい。

S・Kくん

まず最初に思ったことは、やはり「疲れた」という気持ちです。ですが、やはり「楽しい」という気持ちの方も同じくらいありました。



今までこのような勉強の機会があまりなかったので、とても真剣な気持ちで臨めたことをとてもうれしく思っています。最初は不安でいっぱいでしたが、日々合宿での漢字テストなどが楽しくなってきた

T・Hくん

時間を守るために五分前行動を心がけられるようになったり、勉強面では授業への取り組み方や問題の解き方など、分からなかったことが、この合宿で理解することができました。授業の初めにやる単語・熟語テストと漢字テストでは、四

回満点をとることができて、うれしかったです。各教科の実力テストでは、得意な

数学では毎回

高得点を取り、

後ろの席に座ることができた。英語でも

シールをもらうことが出来てうれしかったです。国語は長文問題がとても難しかったので、なかなか良い点がとれなかったため、合宿が終わってから合宿で習ったことを何度も復習して得意な教科にしたいです。

S・Kくん

八月八日、英語の宿題忘れと国語の直しの未提出で正座、お父さん先生のU先生に「お前ら本当に悔しいのか？」と言われました。この言葉は、とても心に残りました。確かに自分の目標カードには「悔しい」という言葉は少なかったです。自分は、限界を決めなかったが、決めたしまったことが合宿前にあった。

H・Jくん

そんな日々が続いて、つらいことや嫌





になること、
正座の危機な
どに何度も遭
遇しました。
でも部屋に戻
ると班員のみ
んながいて、
とても心の支え

になりました。どうにか最後まで心がもち、無事に授業を終えることができませんでした。多分この一週間はいつもの何百倍以上勉強して、何千倍も疲れました。自分はいつも生活リズムが乱れていたもので規則正しい生活が送れました。家に帰っても規則正しく生活していきたいです。

S・Kくん

六日間、家とは別の場所で生活、学習をして、意味あるものを得られたと思います。

まず一つは、国語の授業で学んだ傍線部の意味です。自分は最初、国語の文章題なんて、どうせとれないんだからと、半分あきらめていました。初日にI先生の授業を受けて、何を言っているのか、正直わかりませんでした。そして、目を重ねていくうちにだんだんと意味が分かってくる、言われるがままに傍線部を自

分で引くと問題が解きやすかったです。これが国語では、一番の印象です。そしてこのことを以後継続をすることが半年後に意味ある行動だと思えます。

O・Hくん

まず国語は、漢字テスト一回目が九十六点と、少し悔しかったが、実力テストがそれをさらに上回って、とてもテンションががた下がりだった。国語はそんな調子で点数をキープしていたが英語は少し違った。単語テストは、満点を



取り続けたが実力テストは一回目はとても低かった。しかし、だんだん上がって最後には七十点を超えたので、良かった。数学は、上がったりがたがりだったので、何ともなく普通な気持ちだった。しかし、どの教科も少しずつ成長していることを感じたから少し自信が持てたので良かった。

K・Rくん

ぼくは、初めはこの合宿に来たくないと思っていました。でも五日間過ごして

思っていたよりは楽しくて、少し来てよかったと感じました。

合宿でよかったことは、同じクラスの人と仲良くなれたことです。今回合宿でまだほとんど話したことがないHくんやOくん、Sくんをよく話せるようになりました。また、最後の演芸会でもみんなで盛り上がることができました。

A・Kくん

五日間を終えて感じたことは、第一に仲間がいたことが一番大きかった。もとも知っている人もいたが、この合宿を通じて仲良くなった人もいた。一人なり、絶対に絶対にできなかった。やはり、仲間との存在というものはとても大事なのだと再認識させられた。

やらかしましたが、この合宿はとても充実したものだだった。集中力もついた。これまでとはちよつと違う自分になった気がする。受験まであと半年。後悔しないような生活を送る。

K・Rくん

僕はこの合宿で自分は今にも勉強をしていられるということを知ったので、今後もし受験勉強が大変だったりしたとき、今回の合宿を思い出して、あんなに

できたんだから大丈夫だ。という風に頑張っていると思えました。最後はとても楽しかったし、「飯もおいしかったし、とても良い合宿に参加出来て良かったと思います。

S・Yくん

この合宿で学んだことは、もっと勉強をしたいと思います。この合宿では、食事・風呂以外はずっと勉強をしています。そのせいで、勉強に対する壁がなくなりました。最後の回はものすごく盛り上がり、とても楽しかったです。はしやぎすぎても声が出ません。

K・Rくん

僕はまだこの塾に入ったばかりで、同じ学校の友達がいなかったが、他の学校の人と共同生活をするので、良い仲間と出会うことができた。これも自分の運命であり、とても嬉しかった。

僕は中学三年の最初あたりまで「塾には入らない」と心に決めたものがあつた。



なぜなら塾に行かなくても点を取れる人はすごいと思う個人的な主観があったからだ。しかし、自分の中にあるプライドを捨て、受験に向けて強い意志で入塾したことは正しかったとこの合宿を終えて強く感じる事ができた。

自分がこの合宿を通して変わったかというそれは分からない。そのことは、自分の両親や、友達、先生が一番わかることだと思う。だから「あの合宿から変わったね」といわれるように、これかも「やらされる勉強」と「自主的な勉強」で精進し続けたい。

T・Kくん

一番楽しかったことは、最後の日の夜の日本教育学院の名物の大演奏会でした。「女々しくて」をみんなで振付をつけて歌いました。本番直前でとても緊張してきましたが、舞台上に立ってみると、そこまで緊張せず、全力で踊ることができました。そして他



の班の人も見ている時、すごく盛り上がる事が出来て、人生の中で一番盛り上がった時間だ

と感じました。

M・Rくん

合宿前には「正座は一回もしないで帰ろう」という思いがあったので良かったです。まだこの作文を書いている時点では正座はしていませんが、まだ何が起るか分かりません。最後まで気を引き締めて正座をしないようにこの合宿を終わらせ、またこの合宿を経てその後の夏休みの過ごし方を意識して、「合宿行って良かった」と思えるようにしたいです。

忙しい中、演芸会などの楽しい企画や授業などをしてくれてありがとうございました。

N・Sくん

僕はこの合宿でいろんなことを学んだ。生活リズムでの自身の体調の変化や協力の精神はもちろん、勉強の仕方、やり方、点のとり方など非常に多くのことを学ぶことができ、とても満足した五泊六日間であると思った。

しかし、最初は危険なチームメイトがいたり、見知らぬ人がいたりと不安のある合宿生活がスタートした。見知らぬ場所、見知らぬ人、見知らぬ先生がいて不安は膨大で、正直息苦しい時もあった。

でも、二日、三日と日を重ねていくにつれて、みんなの仲が深まるにつれ安心感をとても感じ、授業にさらに集中でき、それにともない点数と星やにちちゃんマークが増えることに喜びを感じた。

K・Rくん

この合宿に来て、学習面のことだけでなく生活面のことと学び、知ることができた。その中でも僕の中で一番印象に残っているのは、時間の大切さ、良い使い方である。各教科の先生から、普段の平常授業よりもたくさん



出される宿題を決められた時間内ですばやく、且つ丁寧にこなす、ということが「時間」について学ばせてくれた第一の要因であったのだと思う。これについては、今後の自分の生活に活かしていきたいと思う。このような事を学べたのは全て、私たち日本教育学院の生徒が生活している裏で支えてくださった施設の方、先生、チューターの方々

がいてくれたからだと思う。絶対に忘れてはいけない事だと思う。

S・Hくん

合宿の中で大変な事はたくさんあったけれど、それ以上において、おいしい食事があった、あったかい風呂があった、楽しいことがあった。みんなと生活するのはとても楽しかった。

正座は、とても大切なことだった。今までの自分を深く反省する大きなチャンスだった。受験まであと半年しかないので、一日一日、一分一分を大切にしていきたい。

T・Jくん

生活面では、班の人としっかり協力が出来て、班正座はなかった。しかし、個人正座をしてしまったので、とても悔しかったです。それでも、正座して心を改めることができ、良い経験になりました。この合宿を終え、自分でも進化できたと思います。そして、この班のメンバーと協力して生活できて良かったです。それでも、この合宿で課題ができました。その課題を夏休みの後半で改善できるように頑張りたいです。





N・Kくん

行く前はと
ても不安な気
持ちでいっぱ
いだった。勉
強ばかりで疲
れないかな…

怒られて正座にならないかな…もう心配
ごとがあり過ぎて、もうほとんど眠れな
かった。しかし、行ってみたらとても楽
しくて、びっくりした。と同時に自ら楽
しめた。

今、この合宿を振り返ってみると、い
ろんな楽しいことがあったなと思う。そ
の楽しかったことを全部言ってみてと言
われても、たくさんあり過ぎて何から話
せばいいかわからない。合宿、今自分が
日本にいるとは思えない世界で勉強をす
る。それだけのことなのにとても重大な
事を感じた。まあ、実際に重大な事だっ
た。

H・Yくん

そしてついさっき日教名物の大演芸会
をやった。先生も周りの人もみんな狂喜
乱舞しているものすごく盛り上がってい
た。自分のグループは湘南乃風の純恋歌

を歌った。ラストから一曲前だったので
みんな疲れていると思ったけど、改めて
すごいパワーだと感じたり声もかされるほ
ど歌った。すごく歌いやすかったし、緊
張も全くしなかった。

この合宿を通して学んだのは自分の弱
みです。自分のダメな所、まだまだ足り
ない所、伸ばせる所などたくさんあって
それを夏休み中に改善する。

自分と向き合ってやることができたの
も良かった。まだまだ伸びる所を伸ばし
ていき、半年後
の受験に臨む。

B・Tくん

この合宿が楽
しめて一瞬で終
わったのも部屋
の四一四のメンバーがすごくフレンドリ
ーだったおかげでもあります。最初は緊
張したけど、H君を筆頭に明るく楽しい
メンバーでした。どんどん話していくう
ちに最初はしゃべりにくそうだと思っ
た人が最終日には友達のように自然と話
せるようになった。



W・Nくん

僕はこの合宿を通して、普段、普通が

いかに素晴らしいかを学びました。合宿
は普段と違ってとても集中できて、普段
よりもずっと辛い場所でした。娯楽とい
うものが一切なく、九時間以上勉強をし
続けなければなりません。しかし、仲間
(合宿の班)と一緒に協力してみんなで
起こしあつて宿題を何とか終わらせたよ
うな思い出が多々あります。この時、仲
間のありがたみ、助け合いが一番、感じ
たかもしれない。人間一人では中々で
きることは少ないと思います。しかし、
何人かが集まれば、より効率的に物事を
進められます。この経験は今後何かの役
に立つと思います。

O・Tくん

僕は、演芸会で先生がおっしゃってい
た「本気で勉強して初めて自分の弱い所
に気付く」という言葉が印象に残りまし
た。いつも勉強に手を抜いているわけ
ではないですが、一番最後の方は追い詰め
られていたからです。僕は追い詰められ
た状況を経験して、初めて自分が「あせ
り」に弱いことを知ることができました。

この合宿では自分にとって多くの弱点
を見つけることができました。これらの
ことを入試演習に活かせるようにしたい
です。

H・Aくん

長いようでとても短かった夏期合宿。
今回の合宿で、時間の正確さと勉強の大
切さ、効率よく勉強する方法など、たく
さんのことを学びました。また、勉強面
ではなく、たくさんの人(他校舎も含め)
と会話をすることができました。光が丘
で勉強するとき、ただやるだけではなく、
楽しめるかもしれません。今回このよう
な貴重な体験をさせてくれて本当にあり
がとございました。

T・Sくん

合宿で学んだことが二つあります。
一つ目は、時間を有効に使うことと、
結果を残すことです。この合宿では結果
を残すことが重要であり、このことによ
り、時間を有効に使う大切さも同時に味
わいました。

二つ目は、仲間の大切さです。自分だ
けつらいという
わけではなく、他
にもつらい人が
いて支え合っ
たので、とて
も助かりました。
そして、日教



は団体のグループとして戦っていいように思った。

Y・Tくん

一番の思い出は、記憶に新しい日教恒例の演芸会。特に最後の「リンダリンダ」。最後の曲ということもあり、皆のテンションはマックスで、誰一人として楽しんでいない人はいないような最高の雰囲気であった。はじめは五泊六日の勉強合宿は不安と緊張でいっぱいだったけど、スマホなどが無い環境で共に生活することによって、お互いの壁が無くなり、今では笑いあいながら楽しく会話することが出来ています。全体的に今回の合宿は自分にとってとても充実していました。

I・Kくん

学習のこともそうだが、僕が一番学んだことは「仲間の大切さ」です。班のみんなまでご飯を食べ、笑って、怒られて、焦って、寝て、



お風呂に入った。班のみんなでたくさんのお話をしました。そうしていくうちに班のみんな

と仲良くなってきました。班のみんなだけではありません。A2の人たちと一緒に勉強をして、競い合っている人によって光ヶ丘の人たちと以前よりも仲良くなれた気がします。

H・Rくん

合宿を終えて学んだことが二つあります。一つ目は、時間の厳しさです。この合宿での時間は厳しく少し遅れたら怒られました。しかし、その経験が自分の為になっていくんだと思いました。

二つ目は、仲間の大切さです。勉強でも班行動を通じて風呂やご飯を食べる時間も仲間がいます。演芸会を通して仲間の縁が深まってきたと思いました。受験でも仲間は不可欠です。そのことを気づけたのもこの合宿のおかげだと思います。この合宿は自分にとってよりよいものになりました。

E・Hくん

この合宿では、五日間ずっと勉強をしているのがいつも通りの日常とは全く異なり、勉強をしていたことが最もに残った事だと思う。また今回の合宿で習ったことを今後の勉強に活かしていきたい。

また、テストをやって自分が思ったことを同じように今後のテストをやるときに思い出しながらできるようにしたい。

S・Yくん

大演芸会では、今までのストレスが爆発したようにハメを外した。少し疲れたが、とても充実した六日間だった。

忘れられない思い出となったし、班のメンバーとも仲良くなれたので良かった。

この合宿でやったことを無駄にしないように生活していきたい。

Y・Nくん

こんなぎりぎりになるまで、他の教室の人と



の差に気付けなかった自分がとても情けないと思います、桜台という狭すぎる視野で物事を考えていた五日前までの俺は本当に馬鹿だ。だが、それに今、気づけたことは本当によかった。東京に帰ったら、塾に補習に行くことは絶対だ。

Y・Sくん

一日十二時間くらいというハードスケジュール。五日間もやったら死ぬ

じゃないかと思いましたが、

ですが先生の言っていた通り、確かに一日なんて一瞬で終わりました。

かといって楽というわけではなく、夜と早朝は宿題に追われました。本当に苦しかったです。

忙しさとは別に、それだけ学んだという充実があります。勉強をして悪いことはなく、自分を進歩させるためにやり抜いたのです。本当に自分お疲れさまでした！

I・Kくん

今回の合宿は本当にあつという間でした。ただ、この短い間でもたくさんのお話を学ぶことが出来て良い経験になりました。

最初は嫌でも、行ってみれば充実した合宿になって本当に良かったです。この経験を半年後の受験に活かしていきたいです。

H・Sくん

先生が言っていた通り本当に合宿は早



く終わった気がする。

T・Kくん

僕はこの合宿でいくつかの大切なことを知りました。



その一つは、自分に対する気持ちです。この合宿で僕は生まれて初めて、自分と向き合うことができました。それを感じた時、自分の長所は友達と協力できる事と、自分で積極的に行動できる事で、欠点は自分に甘過ぎて、プライドがだんだん弱くなっていく事がわかりました。今後は自分の長所をもっと生かせるように努力し、自分の欠点である自分に甘いことを自分に厳しくするに変えて、今後の勉強や生活をしっかりやっていくようにしていきたいです。

S・Gくん

最終日となった時は少し気持ちも楽になり生活出来ました。最後の演芸会はとても楽しく、良い思い出となりました。また、今までに話すことのなかったクラスの人や班員のひとの仲が深まり、良い関係を築くことができました。

T・Mくん

僕は、この日教夏期合宿を経験して、きついと何回も思いましたが、今振り返ってみると、とても大きな成果があったと思います。

部屋を常に整頓することを心がけていて、部屋でよく集中して勉強ができました。それから、自分は正座を二回してしまいました。あまりよいことではありませんが、経験して精神の勉強になりました。自分は忘れものをしやすく、よく怒られていました。



その結果がこの合宿で出てしまいました。T先生の言葉を聞き、少し対策をしようと思えました。最初は小さいことから地道にコツコツ重ねていき、自分の弱点を改善しようと思えました。

K・Mくん

僕は、この志賀高原に来て色々なことを学びました。その中でも一番印象に残ったのは色々な先生が言っていた「受験は団体戦」という言葉です。この志賀高原に行く前まではとても心配な事がたく

さんありましたが、班のみんなやクラスの人たちが頑張っているのを見て自分も頑張らなければと思い、この五日間を過ごしてきました。こうやって他の人が頑張っているのを見て自分も刺激を受けて頑張ると言うのが「団体戦」ということなのだと思いました。

S・Dくん

この合宿は僕の思い出の中で最高に楽しく熱いものになりました。

具体的には自分のどこが未熟なのか分かり、直すべき場所を見つけたことです。それは正座をして、T先生の言葉を聞いてよく分かりました。自分に甘いところがあったり、はじめをつけれなかったりしましたが、それらを改めて見直すきっかけを作ってくれた合宿に感謝しています。T先生に、N先生の気持ちを考えてみると言われて考えてみて、分かったのは宿題の意味でした。丸つけをし、自分の考えと答えを見比べ、何がいけなかったのか、それをしっかり自分の中で理解するという、当たり前のよう自分自身はそれを当たり前のようになってきていませんでした。これから半年の間、長いようであるという間に経ってしまおうと思うので、宿題への取り組み方を変えて

半年間を過ごしたいと思います。

H・Kくん

人生で自分の限界に挑戦すること、自分の弱さと本気で真剣に向き合うこと、というのはほとんどないと思います。この合宿ではそれが実現できるうえに、人との関わり合い、集団行動の大切さ、友達がいる頼もしさなど、言葉では言い表せないほどの貴重で内容の濃い体験ができました。先生たちの大変さ、宿舎の方々がいることのありがたみなど、支えてくださっている人たちの苦労も感じることができ、一生忘れることのできない宝物となりました。今まで支えてくれた先生方、友達に感謝します。本当にありがとうございました。

この塾は他のどんな塾よりも最高で楽しく多くを学べる塾だと改めて感じました。

I・Yくん

具体的な成長と云えば、自分が一番気にしていた読むスピードです。友達に聞くと、文を読



むとき、頭の中で言葉を唱えていないということでした。僕はそんなことでまきません。出来る気もしませんでした。何を言っているかわからないし、目が見えない人にとつての色、私たちにとつての四次元空間のようなものだと確信しました。でも、この合宿のテストを通して、読むのが速くなった気がしました。この合宿で、自分は、いつもの何十万倍も変わりました。四次元空間も、起きて見れる夢だと思いました。

O・Tくん

僕はこの合宿で何度も何度も悔しい思いをした。国語の語句テストで満点が取れず悔しかったし、英語の熟語テストでも満点が取れずに悔しい思いをした。駿台のテストでもいつものように点数が取れないことが多々あった。

「なぜ点数が取れないんだろう」と考えてみた。



テストに取り組む姿勢だ。「この問題は難しそうだから飛ばそう」と飛ばして簡単な問題を解

いて少しでも点数を上げようとするのは良いと思う。しかし、時間が余ったら難問にも取り組むべきだったと思う。もしかしら分かった問題だったかもしれない。少なくとも無駄な事ではない。空欄は作らないという意識でやっていきたい。

M・Kくん

弱い自分にいつも通り接してくれまして、班員含めA2の人たちは。だからこそ、結果が伸びずイライラしても頑張れた気がします。この合宿で自分の得意教科の数学の弱さ、英語の努力不足、知識の理解の薄さ、国語の漢字、読解の弱さがくっきりわかりました。だから、合宿をバネに東京では納得のいくような結果を出せるように頑張りたい。そして結果だけではなくその結果で得たものの価値もしっかり自分のものにしていきます。

S・Yくん

僕は初日から三日目くらいまで、いつも通りの結果すら出せませんでした。しかし、課題をやったり解説を聞いているうちに前の日に習ったことなどがテストに出てきて、特に最後の二日は成果を出すことができたと思います。数学では一位の金のシールを三枚もらえて、優秀賞

ももらうことが出来て嬉しかったです。

僕が苦手な国語でも、目標点数以上を取れました。最後の演芸会は、練習時間の時まで不安で緊張したけど、すごくみんなで楽しめました。これは、この五日間しっかり頑張ってきたからだと思います。合宿前は、正直あまり気が向いていなくて、先生たちが、「ほとんどの人が帰ってきたときに、行って良かったと思える合宿になった」と言っていた時に、「本当かな」とか「自分もそう思えるかな」と思



っていたけれど、
終えてみてすごくいろんな面で力がついて、本当に来てよかったと思いました。

T・Hくん

合宿に来て二日目にとっても重要なことに気がつきました。それは、他校の先生や普段教わっていない先生に教わることです。先生たちにもきつと得意や専門があるのだから、自分の苦手な古文を文法から解説してくれたり、英語の文法じゃなく、長文から解説してくれたり、普段はあまり触れない所とかを触れてくれてとても学べた。

Y・Tくん

五日間では集団行動と時間の大切さを学びました。合宿中は主に班行動で一人が規律を乱すと、班全体に迷惑をかけるので、絶対に一人では行動できない。時間の大切さを思い知らされたのは勉強しているときです。自習の時間、宿題が多く毎日朝五時半に起き勉強していて、毎日怠惰に過ごしてきた日々が馬鹿らしくなった。テストをしているときも時間配分を決め、有効に時間を使うことに苦戦した。

合宿では色々な事を学べて、来てよかったと本当に思った。またこの経験を後に生かしていきたい。

K・Yくん

今、作文を書いていて一番記憶に残っているのは、合宿最後の大演芸会だ。久々に本気で楽しめた。自分をさらけ出せたかは分らないが、全体のノリにのれた感覚がとても気持ち良かった。勉強面では最初は結果を出せずに悔しい思いをしたが、逆にテストを重ねることに順位が





上がっていったのが自信になった。特にこれと言った点を取れた教科は無く、全体的に平均的だったのが残念であるが、何か一教科が思いっきり足を引っ張るようなことがなかったのは安定していたと言えるかもしれない。終始宿題に追われていて大変ではあったが、次のテストに宿題や直してやった問題が出てくると、やっておいてよかったと確信できた。

M・Sくん

ぼくは、この合宿で強く感じたことが二つあります。

勉強は生活面とも繋がっているということを感じました。部屋を清潔にすると勉強がとてはかどりました。また、決められた時間どおりに生活することで時間を有効に使用して、それによって勉強する時間もしっかりと取ることができました。

これからの受験が終わるまでの期間は、この合宿で学んだことを生かしてラストスパートを走りきれるようにしたいです。

F・Mくん

合宿の名物という正座も一度体験してしまいました。行く前に何度もM先生から去年のKは一度も正座をしていないと言われていて、正座してはいけないような気がしていたのですが、一回だけ遅れてしまいました。そして、僕と同じ班のみんなとはより深く分かりあうことが出来た気がしました。この合宿での根気と集中を忘れないように夏の残りの勉強に生かしていきたいです。

S・Tくん

この合宿で学んだことは、絶対に

諦めない心だ。合宿前は悪い点を取ると、すぐに下を向いてしまっていた。合宿中、二回連続でビリを取ってしまった時、職員やクラスみんなが次に良い点数をとるために前向きに頑張っているところを見て、自分も頑張らなくてはならないと励まされた。自分はまだ自分に甘い。本当に甘い。これからは普段の生活に戻りけれど、合宿のような緊張感を持って取り組めるようにしたい。



M・Sくん

僕は、この夏期合宿で時間の使い方一番学びました。こんなにも、全ての時間を勉強に使ったことがありませんでした。テレビやスマホなどが周りにはないので、勉強に集中できました。また、宿題が出て、やる時間がないので、時間を効率的に使い、そして時間を作りました。正直、明らかに終わらないと思っていても、明らかに終わらないと思っていれば、やり遂げられるということが分かりました。勉強以外にも、生活の方でも時間の使い方について気をつけました。時間に余裕をもってお風呂に行ったり、ご飯を食べたりしました。

Y・Sくん

演芸会では名前を呼んだことがない人や、喋ったことがない人というところではなく、他クラス・他教室の人たちと騒いだりハイタッチしたりでき、演芸会のあの独特の雰囲気のおかげでこれからはもっと明るく楽しく塾に通える確信ができました。

合宿で体験してきたことをこれからも生かすために、日々の努力を怠らず、積み重ねを大切にしたいと思います。最後

に演芸会の最初にT先生がおっしゃっていた「自分の最善を尽くせ」という言葉を大切に、この先の受験に向かって頑張っていきたいです。

T・Mくん

宿に着いてからはあっという間に時間が過ぎていき、そして今終えた最終日。今是不思議な達成感に包まれています。それは言葉ではうまく表せないものです。何か心の奥から染み出てきたようです。五日間、食事や風呂の時間以外は勉強をしていて、授業をやるたびに宿題が出され、細かい時間を活用して取り組みました。確かに普通に見ればそれは大変で苦しいことかもしれませんが、やっている最中の自分は不思議と苦しいという感覚よりは「楽しい」ような感覚に包まれていました。今では初日の「不安と期待」がもはや「自信」となりました。

N・Kくん

最終日の演芸会では思いきり叫んで笑いました。我を忘れて

正直今思い返せば「変人」と呼



ぶに相応しいものとなっていました。しかし、それほど合宿を楽しく最高であったと胸を張って言えるものにできませんでした。その事が出来たのは、いろいろな人のおかげだと思いました。とてもありがたいです。

今回の合宿で得た勉強への熱意をこれからも持続させたいと思います。

Y・Rくん

僕はこの合宿でいろんなことを考え、感じました。

最初に班行動の大切さです。班行動では人には迷惑をかけられないという緊張感を持ってやることで、自分のことは自分でしっかりできました。でも、少しみんなに迷惑をかけてしまった時でも、みんなは協力してくれました。だから風紀チエックでもしっかり二重丸をもらえたのだと思います。

勉強ではあまり良い結果は出ませんでした。けれども、

自分なりに頑張ったし、限界を超えられたかは分からないけれど僕は超えられたと思います。



すごく苦しい思いもしました。でもこれが本番じゃないし、この勉強合宿ではこれから「がんばっていく」という決意を持つことができたので、半年後、笑っていられるように、志望校に受かることができるように、一步一步着実に進んでいく。

A・Yくん

今回の合宿で自分としては多くの面で成長することができた。しかし、半年後には受験がもう控えている。現在の学力レベルでは志望校に達していない。それを半年というとても短い期間だけけれども、どのようにして学力レベルを上げるか、そこで勝負が決まると思う。応援してくれている家族の期待に応えるためにも死ぬ気で頑張りたいと思う。

W・Sくん

達成感を得て、目標を持てたのは、この合宿での生活だ。自分の予想では、自分ももっと正座になると思っていた。しかし、意識したのか思ったより怒られなかった。僕は日ごろ生活面がとてもしないで、合宿のように意識を高くして行動したと思った。

最後に僕はこの合宿に来てとてもよ

かったです。勉強の向上だけでなく、新しい友達を作ることができた。そして、最後の大演芸会では、今まで勉強を共にした人たちと吹っ切れ、演芸会を楽しむことができた。今回の合宿を糧に、これから先頑張りたい。

H・Dくん

生活面では、想像を超えるほど厳しく対処され、とても辛かった。けれど、そ



のおかげで勉強に集中することができ、集中することができる環境にすることができました。時間どおりに行動することで時間を守る力をつけることができました。そして部屋がとてきれいだだったので、清々しい気持ちで生活することができ、とても素晴らしかった。

H・Kくん

この夏期合宿を終えて、ここで、身につけた習慣や学んだことを東京に帰っても、忘れないで、生かしていきたいです。

テストでは不本意な結果で、自分が目標にしている点数にはあまり届かなかった

という悔しい

この結果から、少しずつ点数をとっていき、数学と英語を自分の得意教科にしたいです。悪い点数を取っていても、自分が変わるきっかけをつかめたので、この合宿に参加し、仲間とともに頑張られて本当に良かったと思いました。

K・Yくん

この合宿は自分が想像していたよりずっと大変でした。単語テストは覚えるのが遅いので、とても時間がかかりました。そして直しも多かったので朝早く起きなければなりません。しかしこの合宿で得られたものは多いと思います。受験に向けて色々な先生方の話を聞くうちに、自分もやらなければと思いました。また普段、勉強していなさうな人でもしっかりとやっていて、少し驚きました。だから、自分もこれからは家でもしっかりとやろうと思います。

K・Rくん

いよいよ受験まで半年です。正直とても怖いです。でも今回の合宿で一人で受





験というものに立ち向かっているのではなく日教の間と一緒に立ち向かっていくということ

を実感させられました。また、その仲間同士でも競い合い、お互いを高めあうことができたと思います。一週間後には後期の講習が始まります。この合宿で学んだすべてをこれからの受験に向けての半年に活かしていけたらと思います。

M・Kさん

この五日間、目の前には勉強しかないし、テレビも携帯もないけれど、だからこそ自分の苦手な所や得意な所が分かったので良かったと思います。そして、何よりこのメンバーで合宿に来れたこと、このメンバーに出会えたことも嬉しかったですし、とても誇りに思います。宿題が多く、時間も足りなくて正直先生を恨んだこともありました。しかし、ここまで真剣に私たちに接し、丁寧に教えてくれて、熱い情熱をもって指導してくださった先生たちには感謝しかありません。色々な部分で支えてくれた家族、友達、先生方、

全ての人に感謝したいです。こんなに多くの人に感謝出来る環境にあることがとても幸せで恵まれているんだと思います。特に親には、この合宿に来れたのも親がいてこそだと思っし、本当に感謝しきれません。苦しかったし大変だったけど、それを乗り越えたのは友達がいてこそでした。この感謝の気持ちを結果に出せるように、友達存在を大切にしながら受験頑張ります。日教に入って本当に良かったです！

A・Rさん

今回の合宿で、



勉強しすぎると熱が出てしまうことがあったので、これからは体力づくりも同時にしていきたいです。そして日本教育学院の合宿に参加できてよかったです。チューターの方、看護の方、先生方、日教の生徒さん、桜台のみんな、ありがとうございました。これから自分の限界まで頑張っていきます。

H・Yさん

もしこれから合宿に行く人たちがいたら私は寝るときにお説教の声を聞いてみ

て、と迷わずに言います。いろんな先生が怒っていて怖いけど、それでも、自分の心に突き刺さる言葉がきつとあります。私は、それらの言葉を大事にしながら、これからの半年を乗り切ろうと思います。受験は不安だけれども、自分が歩くべき光を自分の手でつかめるようにしたいです。その光は他の人たちと比べると、弱く小さかったとしても、自分で手を伸ばし、届いて、ちゃんとかめた事に意味があるんだと思います。

I・Yさん

宿題が多くて終わらないとか、色々といライラした所もあったけど、その大変さがこの結果を生んだとしたら、頑張ってきた本当に良かったです。喜びとは反対に私はテストで満点を取ったのに提出期限を過ぎて出し遅れたり、違う用紙と間違えて出してしまったりとばかなことをして、正座を二度もしました。先生の言葉は忘れないようにしたいと思います。この合宿でいろんな所を成長させることができたと思います。

O・Nさん

はじめ、合宿に来るまでは本当に嫌だった。一日中勉強詰めにしたこともなか

ったし、班で絶対に行動しないとイケないということも嫌だった。でも、合宿に来て二日目くらいからは、だんだんと勉強をこなにする事が出来ている私に気がついて、少しだけ勉強することへの楽しさを持ち始めていた。しかし、毎回たくさん出る宿題と毎回ある単語テスト・漢字テストに、だんだんと疲れてしまっただ。その疲れが出たのか、立ちくらみが出て、目の前が真っ白になり、気持ちが悪くなってしまった。「このままで皆に置いていかれる」そう思った。その思いが通じたのかすぐに治り、授業に参加することができた。みんなに少し遅れた分、一杯頑張った。でも、やればやるほど、問題を一人で解くことができず、立ち止まってしまいう弱い私があった。今でもその自分を超えられたのか分からない。しかし、合宿に来る前の自分とは明らかに違う自分になっている気がする。今までは一日中勉強なんて無理だと思っていたのに、この合宿を乗り越えられて、とても自信がたった。生活面でも、身の回りをきれいに



にしておく事によって、勉強に集中できるのだと、いまさらながら気がつくことができた。

F・Mさん

この合宿で一番に楽しかった事。それはやっぱり演奏会です。今まで溜まっていたものを全て出し切るかのように狂ったように歌い、叫び、飛び回っていました。私たちの班はRPGを歌いました。約四十分で考えた振り付けで舞台上踊りました。恥ずかしさは全くなかったです。唯一私たちだけマイクを使わずに歌い、皆がのって来てくれるか心配でしたが、予想以上に一緒に歌ってくれていたのので、歌う&踊っている私は楽しくて我を忘れていました。

また、一番嬉しかったことは最優秀班に選ばれたことです。選ばれたと分かるまで一秒ほど固まって、その後班のみんなで騒ぐほど嬉しかったです。一度、全



員で寝る前に正座をしたこともありました。それなのに選ばれた！という驚きもありました。

I・Nさん

五泊六日は私にとって早く感じた。そしてすごい内容の濃い合宿だったと思う。正座した夜のことは忘れられない。色々な事を反省した。でも、そのおかげで次の日から新しい自分として精一杯、合宿の後半を過ごすことができたと思う。日々の中で宿題に追われることが多かった。だが、朝早く起きた日も必ず隣で誰かが集中している、これを見て私も頑張らなくちゃと本心に心からそう思うことができた。これでこそ受験は団体戦なのだと感じることができた。

K・Yさん

私が今回の合宿で一番意識したことは、先生の話をよく聞くことです。特に宿題やテストの解説では、自分が間違えた所以外も解き方を確認することができました。先生は字も図も上手で、見やすかったです。

また、私は初めて自主的に質問に行くことができました。今までは恥ずかしく、分からない問題は何となくで解いていた部分もあるけれど、先生に聞いた方が、間違えずに覚えられるということに改めて気付かされました。班員の子も一緒に行けたので心強かったです。これは私の

一つの成長だと思います。

一方、一番良かったことは、各教科の宿題がとても多かったことです。その日中に終わらず、毎朝五時半に起きて懐中電灯を当てて勉強しました。なぜか自分で早く起きられるようになっていて、これも合宿のいい影響なのかなと思いました。

I・Rさん

私がこの合宿で最も強く感じたことは、何より「仲間の大切さ」でした。合宿が始まる前から、先生に「受験は団体戦だ」という言葉を何度か聞かされて



来ていましたが、今こうして五日間の勉強を終え、そのことを改めて強く感じました。

私の班は全部で四人と、班員的には少ない人数でしたが、その分一人一人の協調性や団結力が強く、一つになって協力し合える班だったと思います。そんな班だったからこそ、宿題が終わっていない時は朝早く起こしてくれたり、小テストの確認をしてくれたり、色々な事で支え

てくれました。

班員のみんなが支えてくれたおかげで乗り越えられた場面も多かったと思います、

班員のみんなでこの合宿を乗り越えたという気がとてもしています。



K・Rさん

この合宿で現実を突きつけられたと思う。しかしそれは、ある意味良い機会だったと思う。学校に比べると、頭よくいいなあとと言われるけど、この日教の合宿で得たものは、現実、そして努力する心だ。毎日毎日、お風呂と食事と寝ているとき以外は、授業に宿題に追われている。でも、ここまで頑張ってきたから、これからも頑張れる自信がついたと思う。残念ながら、シールは四枚しかもらえなかったけど、私はシールが全てではないと思う。自分なりにたくさん努力したし、朝早く起きて宿題をしたり、今までにないほどつめつめ勉強した。